

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	計量検査事業			コード	16519	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	工業振興課	作成者	金子 郷
3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなでつくる、確かな未来を拓くまち			
		政 策	市政運営の推進	施 策	その他	
		予算科目	計量検査事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		根拠法令	計量法			

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	計量検査の適正な実施により、正確な計量器の機能を維持する。		
目的	対象者	各種計量器を扱う企業、業者、個人	
	意 図	適正な計量器メーターの設置	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>特定計量器（質量計）の定期検査を実施したほか、新聞広告やポスター等を通じて、計量に関する周知啓発を推進した。</p> <p>【検査実施数】</p> <p>特定計量器定期検査（集合検査、所在場所検査）</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査事業所数39社 検査個数128件 <p>商品量目立入検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内3店舗 検査個数150件 			
前年度の課題への対応	質量計の検査を定期的に行い、計量器の適正な維持に努めた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	検査数			単位	件
	実績値	100	245	128	
	* 指標の説明	計量器定期検査実施件数			
② 成果指標（指標名）	合格件数			単位	件
	目標値	202	98	239	124
	実績値	98	239	124	
	達成度	48.5%	243.9%	51.9%	
	* 指標の説明	計量法に定められた2年に一度の検査であり、令和元年度は前年に比べ検査台数が減による。			
* 目標値の設定方法の説明	全年度の実績値とする。				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	125,203	216,277	132,301	0
経常経費	125,203	216,277	132,301	
臨時的経費	0	0	0	
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	2,525,203	2,616,277	2,532,301	2,400,000
前年度比		103.6%	96.8%	94.8%
財源	2,525,203	2,616,277	2,532,301	2,400,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	25,252	10,679	19,784	
前年度比		42.3%	185.3%	
⑤ コストに関する補足説明	令和元年度は検査台数減に伴う、事業費の減によりコストが上昇した。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	-

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 51.9%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 51.9%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・計量法に基づいた検査を実施するため、事業者へ検査日程等の周知を徹底し、適正な検査業務を実施。 ・検査業務従事職員の負担を軽減や効率化を図るため、集合検査の利用を促す。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・検査スケジュールに基づき、対象事業者へ周知を行い、効率的な検査の実施に努める。 ・検査手数料を検査後の徴収から、納付確認後検査を実施する。 	
	改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	--	--